

令和 7 年度資金収支状況について

1 資金収支

令和 7 年度における歳計現金等（歳計現金及び雑部金）の残高は、年度当初が約 1 9 3 億 6 千 7 百万円、令和 8 年 3 月末では約 2 2 7 億 8 千 8 百万円であった。

その間、一日あたりの平均残高は、約 6 5 億 7 千 8 百万円、最高残高が約 2 2 7 億 8 千 8 百万円、最低残高は△ 1 4 億 7 千 9 百万円であった（表 1 参照）。また、歳計現金等の不足を補うため、財政調整基金から繰替運用を実施した（表 2 参照）。

表 1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
最高額	38,997	38,353	22,788
最低額	4,553	△8,787	△1,479
平均額	13,557	7,056	6,578

表 2 財政調整基金からの繰替運用実績

	繰替期間	繰替額	金利	繰替日数	支払利子
1	R7.4.24 ~ R7.4.25	9 億円	0.2%	1 日	4,932 円
2	R7.5.14 ~ R7.5.19	29 億円	0.2%	5 日間	79,452 円
3	R7.5.22 ~ R7.5.23	4 億円	0.2%	1 日	2,192 円
				7 日間	86,576 円

※繰替日数は、繰戻日（歳計現金等から積立基金に戻した日）を除く

2 基金運用

令和8年3月末現在における積立基金の残高は、約675億円であり、前年同期に比べ、約97億円の減となっている。

令和7年度の金利状況については、令和7年12月に政策金利が0.75%に引き上げられるとともに、長期金利の指標となる10年国債金利が約20年ぶりに2%台に到達するなど、超低金利から脱却し、本格的な金利上昇が進んだ。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性及び流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、令和7年度の運用益は約2億7千9百万円、運用利回りは約0.41%となった（表3参照）。

なお、令和8年3月末の積立基金運用状況は、表4を参照。

令和8年度の基金運用は、大口定期預金等の定期性預金や債券のうち、収益性の高いものを選択することとする。令和8年6月に政策金利が0.25%引き上げられたことから運用利回りの目標を0.7%とする。

表3 積立基金運用益比較

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度末残高	79,266,065,377 円	77,259,722,673 円	67,520,490,763 円
運用益	62,879,773 円	140,932,451 円	279,452,023 円
運用利回り	0.08%	0.18%	0.41%

表4 積立基金運用状況（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

基金名	残高	運用種別		
		普通預金	債券	定期性預金
財政調整基金	30,184,788,076	8,392,753,076	2,618,035,000	19,174,000,000
社会福祉施設整備基金	3,133,171,557	171,557	500,000,000	2,633,000,000
減債基金	719,542,216	542,216	0	719,000,000
義務教育施設整備基金	13,116,037,646	16,541,946	4,099,495,700	9,000,000,000
平和基金	96,218,024	1,218,024	80,000,000	15,000,000
区営住宅整備基金	1,151,316,177	316,177	0	1,151,000,000
介護給付費準備基金	2,860,746,124	637,746,124	0	2,223,000,000
道路・公園整備基金	4,710,202,789	202,789	0	4,710,000,000
まちづくり基金	11,296,131,583	131,583	0	11,296,000,000
区民公益活動推進基金	2,108,752	2,108,752	0	0
環境基金	240,022,857	240,022,857	0	0
新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金	0	0	0	0
子ども・若者文化芸術振興基金	10,204,962	10,204,962	0	0
計	67,520,490,763	9,301,960,063	7,297,530,700	50,921,000,000